

3. 安全目標

(1) 安全目標

当社では、鉄道事業における最優先事項である安全で安心な旅客輸送サービスの提供をより一層強固なものにするため、「安全基本方針」に基づき「安全目標」を定めています。

2022年度は以下の目標を定めましたが、インシデントを2件発生させ、目標達成には至りませんでした。

2022年度「安全目標」

●達成を目指す定性目標

社会の安全安心を支える鉄道従事員として、常に社会的信頼に応える行動をとる

●達成を目指す定量目標

1. 責任事故 ゼロの継続 ⇒ 達成
2. インシデント ゼロの継続 ⇒ 未達成（※次ページ参照）
3. 社内原因による輸送障害 2021年度実績以下 ⇒ 達成

【語句の注釈】

- ・責任事故：当社責任による運転事故や電気事故など
- ・インシデント：鉄道事故などが発生するおそれのある事態
- ・輸送障害：法令の届出基準（運休（部分運休含む）または遅延30分以上）に該当する事案

(2) 安全重点施策の取り組みテーマ

当社では、「安全重点施策の取り組みテーマ」を定め、各部がこのテーマを基に「安全重点施策」を策定することで、安全管理体制の継続的改善に努めています。2022年度は、以下のテーマを定めました。

2022年度「安全重点施策の取り組みテーマ」

1. 知識、技能の向上と次世代への継承
2. 危機対応力（自然災害、車内治安維持等）の強化
3. 法令、社内規定・マニュアル等の理解・遵守

○ インシデントの概要について

(1) 列車後退による自動車との接触

- 発生日 2022年6月14日(火)
- 発生場所 京津線 びわ湖浜大津駅～上栄町駅間(併用軌道区間)
- 概要 当該列車の運転士は、上り勾配区間を走行中、前方の線路上で右折待ちをしている自動車を数台認めたため減速させ、右折車両が解消した後、坂道発進の要領でブレーキを軽く入れたまま加速操作を行いました。が、車両の特性※により加速ができず後退し始め、ブレーキ操作が遅れ、列車最後尾の後方に停車していた自動車と接触した。
※本車両は、低速でブレーキを入れた状態では、運転士に止まる意思があるとみなし、加速操作を打ち消す特性があります。
- 原因 運転士の機器操作誤り
- 再発防止策
 - ・低速となった場合は一旦停止し、確実な操作に繋げるよう周知(暫定対策)
 - ・要因となった車両特性の廃止(恒久対策 ※2023年度実施予定)

(2) 遮断桿が上昇した状態の踏切道への列車の進入

- 発生日 2022年11月3日(木)
- 発生場所 石山坂本線 穴太駅～松ノ馬場駅間
 - ・穴太1号踏切道
 - ・井堰川踏切道
- 概要 当該列車の運転士は、穴太駅到着前に、眠気により制動の開始が遅れ、直ちに非常制動を投入したが、駅の停止位置を過走し、穴太1号踏切道を遮断開始前に通過したうえ、次の井堰川踏切道においては警報音鳴動開始前に先頭部が踏切道内に進入して停止した。
- 原因
 - ① 眠気による制動時機遅れ
 - ② 運転士の制動操作遅れ等により高速で駅に進入した際に、進入する可能性のある踏切道を遮断する設計になっていなかったこと
- 再発防止策
 - ① 異常な眠気も体調不良と認識するよう周知
 - ② 高速で駅に進入した際にも、進入する可能性のある踏切道を遮断するよう施設を改善